

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和 2 年度瑞穂町子ども・子育て会議（第 1 回）	
開 催 日 時	令和 2 年 1 0 月 3 0 日（金）午後 6 時 3 0 分から午後 8 時 0 0 分まで	
出席者及び 欠 席 者	【出席者】委員 1 1 名、事務局 3 名、子育て応援課 3 名 合計 1 7 名 【欠席者】委員 1 名	
次 第	1 開 会 2 委嘱状 交付 3 福祉部長あいさつ 4 委員及び事務局 自己紹介 5 会長 互選 6 議題 (1) 保育所の定員等について (2) 第 2 期 子ども・子育て支援事業計画及び進捗状況等管理について 7 連絡事項 (1) 次回会議について 8 閉 会	
傍 聴 者	1 名	
配 布 資 料	当日配布 ・次第 ・資料 1 令和 2 年度子ども・子育て会議委員名簿	
会 議 内 容 (主な意見等 を原則として 発言順に記載。)	1 開 会 (子育て応援課長) 2 委嘱状 交付 3 福祉部長あいさ つ 4 委員及び事務局 自己紹介 5 会長及び副会長 互選 (副会長)	委員 2 名が 3 月末で退任されたため、新たに 2 名委員を 選出した報告。 また、新任委員にお礼。 福祉部長より、委員に委嘱状を交付。 福祉部長より、あいさつ。 委員及び事務局より、自己紹介。 条例第 6 条「会議に会長及び副会長を置き、委員の互選

	<p>(委員) (日野会長)</p> <p>6 議題</p> <p>(会長) (保育・幼稚園係長)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員) (保育・幼稚園係長)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p>により定める。」により、会長を選出する。立候補または推薦はあるか。</p> <p>立候補・推薦がないため、学識経験者の日野委員を指名する。</p> <p>異議なし。</p> <p>会長よりあいさつ。</p> <p>これより、会長に進行をお願いする。</p> <p><u>(1) 保育所等の定員について</u></p> <p>保育所の定員について。</p> <p>びよびよ保育園が認証保育所から認可保育園になったことに伴い、定員が増加した。認可保育園の定員636名。</p> <p>保育園、認定こども園の協力により、待機児童は4月から9月まで0名。10月の待機児童は3名。現在1歳児クラスが満員。</p> <p>みずほひじり保育園の増改築により、定員が74名から90名に増加予定。</p> <p>3月末になってくると、1歳児、0歳児の待機児童が増加する見込みのため、今後も、定員の確保が課題になってくる。園の改築の予定も含め、待機児童対策は今後も続けていく。</p> <p>面積があっても保育士の不足により、定員を減らさざるをえない状況があったが、人手不足は解消したのか。</p> <p>現在、人手が足りていない園は2園。看護師の不足や保育士が産休に入ることが理由である。</p> <p>びよびよ保育園が認可保育園になったという話をしたが、認証保育所は、東京都が認めた保育所である。また、認証保育所の瑞穂すみれ保育園が入所児童数の減少により、閉園する。(現在手続き中)正式に東京都から閉園の決定がでたら、ホームページ等でお知らせしていく。</p> <p>待機児童対策の中、閉園する認証保育所もあるが、定員不足が起こりやすいのは0～2歳クラスである。また、例年、認可保育所が先に定員に達する傾向にある。</p>
--	---	---

<p>(会長)</p>	<p>ほかに何か。</p> <p>議題 2 にうつる。第 2 期 子ども・子育て支援事業計画及び進捗状況等管理について、事務局より説明。</p>
<p>(事務局)</p>	<p><u>(2) 第 2 期 子ども・子育て支援事業計画進捗状況等管理について</u></p> <p>『瑞穂町子ども・子育て支援事業計画』の 93 ページ以降に基づき、令和 2 年度の上半期進捗状況について数値の報告。</p> <p>新型コロナの影響で、延期や中止となった事業が多くあり、達成度が E となっているところが多い。</p> <p>第 2 期子ども・子育て支援事業計画で新たに「妊産婦への支援」施策を追加した。第 1 期では、「健康教育相談の推進」という言葉になっていた。</p> <p>「多世代間交流事業の支援」施策、「児童育成手当等の給付」も令和 2 年度より新たに追加された。</p> <p>基本目標 6 には「子どもの貧困対策」が追加された。</p> <p>(堀池委員から挙げられた) 事前質問への回答</p> <p>地域との連携施策の進捗状況より、地域コーディネーターが各学校にいるのか、また、何をしているのか。</p> <p>地域コーディネーターは、各学校長から推薦された方を教育委員会が委嘱している。</p> <p>今年度の活動内容は、各学校で実施している放課後学習「学びのテーマパーク」の学習指導員をしている地域住民の出席確認等の勤怠管理を行っている。</p> <p>放課後学習「学びのテーマパーク」は、小学 4 年生から中学 2 年生までを対象とし、学校の授業終了後の時間を使って、児童が主体的に家庭学習や課題に取り組むことを目的とした事業である。</p> <p>公園・緑地の環境整備施策の進捗状況より、新しい公園や遊具が増えている中で、どのようなところから要望が挙げられているのか。</p>

		<p>町内会や地域から直接要望が挙がる。また、町長への手紙という形での要望もある。現在は、要望は届いていない。そのため、公園、遊具等の整備の予定はない。</p>
	(子ども家庭支援センター係長)	<p>地域における子育てグループの支援について、現在、いくつかのグループがあり、どのような支援を行っているのか。</p> <p>件数は不明。登録なし。</p> <p>グループの支援としては、ポスター等の掲示スペース、地域活動室の提供。</p>
	(児童館係長)	<p>件数は不明。名簿等はない。</p> <p>活動支援としては、幼児室にPR用のスペースを提供している。</p>
	(事務局)	<p>保育の質の向上施策の進捗状況より、9月から読み聞かせ推進事業を開始したとあるが、誰が、どのように行っているのか。</p>
	(保育・幼稚園係長)	<p>町内の全保育園、幼稚園（計14園）に対して、1園につき1万3千円を限度に各園で必要な絵本や紙芝居等を注文し、4グループに分け、各園が注文した本を回覧する事業である。回覧を終えた絵本等は、注文した園に置いてもらう。</p> <p>園の方で保育士等が読み聞かせをしていると思う。そこについては、とのがや保育園の園長先生からお話ししていただきたい。</p>
	(委員)	<p>園側が必要としている絵本を選ぶことができる機会である。絵本等が自園に回ってきた際には、保育士を中心に読み聞かせをして有効活用している。助かっている。</p>
	(事務局)	<p>多世代間交流事業について、古川副会長より説明をお願いしたい。</p>
	(副会長)	<p>「おひさまカフェ」の準備をしている。</p> <p>朝ご飯を食べていない小学生に向けて、おにぎりのみそ</p>

		<p>汁を提供したい。</p> <p>現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域の人と交流したい、地域の人が栽培した食材を使いたいという要望を通すには難しい状況にある。初めは、即席の味噌汁と、市販のおにぎりを提供することで、早めの実施を考えている。</p> <p>協力したいという人は集まってきているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、思う通りには進んでいないのが現状である。</p> <p>夏休みの時期に1回目の実施を考えていたが叶わなかった。</p> <p>瑞穂第一小学校で1回目を行う予定。</p> <p>子どもの食育、子どもの安全について考えて、学校の敷地内で実施する予定である。</p> <p>授業開始前に学校内で食事の提供をすることで、安全を図る。また、連絡手段を整えている。</p> <p>(事務局) 事前質問に対する回答は以上。</p> <p>(会長) ここまでで、なにか質問や、もっと深く知りたいことなどあるか。</p> <p>(委員) 子育てグループの支援について、課題として「グループの設立やPRするための支援」を挙げているが、グループを把握せずにいることや、広報のみの支援から、自らの働きかけのない、受け身な姿勢であるように感じた。</p> <p>これを課題とするのであれば、もう少し、積極的にグループに関わっていくべきなのではないか。また、何か新しい方法を考えたほうがいい。具体的に子育てグループについて知っていくことも大事なのではないか。</p> <p>おひさまカフェについて、ここから始めようという目標はあるか。</p> <p>(副会長) 11月にリハーサルを行い、年内に開始したい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策をとらなければならない中、どのように実施していくのか、創意工夫を重ねてい</p>
--	--	---

		<p>る。</p> <p>リハーサルについては、二桁に満たない程度の利用を想定している。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、お年寄りと呼ばないため、まずは、子どもと食べさせる大人だけでの実施を考えている。</p> <p>消毒や手洗い、うがいを徹底する。また、時間が許せばラジオ体操など体を動かすこともしたい。</p> <p>しかし、朝の短い時間での提供。7時30分から、8時前までの20分程度の時間を利用することを考えているが、時間の制約に厳しさを感じている。</p> <p>食事を作る場所についても、まだ決定はしていない。継続した食育を行うための場所を作ることの難しさを実感している。</p> <p>(会長) 多世代間交流ということで、学校の給食も交流をしない方針の中で、食育も行えていない今、課題はあると思うが、次のステップであると思う。</p> <p>学校現場から見て、おひさまカフェの実施や、放課後学習学びのテーマパークについて、課題や様子はどうか。</p> <p>(委員) 今、おひさまカフェの主たる目的は、児童に朝食を提供することではなく、他世代間の交流が主であるということだが、もともとは、朝食を食べることで、児童の授業態度が良くなり、学力の向上も見込まれるということで受け入れた。子どもたちにいい影響があることを期待している。</p> <p>放課後学習「学びのテーマパーク」については、学校に地域の方が来る機会として、もっと地域住民同士で地域コーディネーターや、事業を紹介してほしい。地域住民の方は学習サポーターをしてくれているが、地域住民の地域コーディネーターが増えたほうが良いと考えている。地域と学校をつなぐ役目をしてほしいと願っている。</p> <p>(会長) ほかに意見はあるか。</p> <p>(委員) 子育てグループの活動支援について、児童館には、自身</p>
--	--	---

が所属する子育てグループで、急な要件に対応してもらったことがあり感謝している。児童館は、当日に場所も道具も借りることができるため、すごくサポートをしてもらっている。

また、子育て広場の指導員をする中で、グループを作ることについて案内をしているが、4年保育で2歳から保育園を利用することができ、グループとして活動しようと考える人は減っているようだ。

幼稚園、ひばり、児童館に子育て広場があり、保育園の園庭開放や、子育て広場が数多くあり、毎日どこかで子育てに関するイベントが開かれている。そのため、自分たちでグループをつくろうという人が少ないと思う。子育てグループを作る支援をするというのは、方向性が違っているのかもしれない。あまり必要性を感じられていない部分があるのではないかと、子育て世代の母親に接していて感じる。

わんぱくクラブもメンバーが激減している。

親子広場があちこちにあり、親同士で交流する機会があること、また、相談できる相手がいて、一人で頑張らなくてもいいということを伝えていくことの方が瑞穂町には合っているのではないか。

武蔵野地区でボランティアによって行われている、「子ども食堂ととろ」についても、応援してほしい。材料の調達や食事の準備、人手不足、利用者が少ないといった悩みを抱えていると聞くので、積極的なサポートをしてほしい。

発達障害等支援の充実について、発達障害を持つ児童の保護者から、瑞穂町には発達支援事業所がないと聞いた。町内にそういった施設や、専門的な知識で子どもがサポートを受けるといいと感じた。

学びのテーマパークについて、小学校の学習サポーターが充実していると感じているが、中学校では学習サポータ

		<p>一はいない。特に2中でスタッフが足りていない。もっといろいろな方法でのPRが必要なのではないか。今年度は、塾の講師にも協力をしてもらっているが、地域との関わりという点ではフォローが足りていないのではないか。教育委員会だけでなく、他課と連携して進んだフォローが欲しい。</p> <p>(会長) 広報、PR活動は大切だ。現代の傾向として、掲示だけではPRにならないと思う。時代に合わせたPR活動が必要だ。</p> <p>ほかには、何か。</p> <p>(委員) おひさまカフェについて、小学生が朝食を食べてこない理由は何か。朝食を食べてこない理由は、朝起きられないことなのではないかと思うが、親が子どもの朝食を用意していないということなのか。</p> <p>おひさまカフェは良い事業だと思うが、時間を聞いて、ぎりぎりに児童が起床するような子である場合は、朝の早い時間に学校に行くことができないのではないかと思った。また、その時間に子どもを起こして学校に行けるようにする親であれば、朝食も食べさせることができるのではないか。</p> <p>(副会長) 学校で子どもと接する中、学校に遅れてくるわけではないが、朝食は食べてきていないという児童がいる。母親が起きていない、という理由もある。</p> <p>また、生活が苦しいというわけではなく、時間の問題や、子ども自身の好き嫌いが理由に挙げられる。</p> <p>どういう子どもが来るか、今の段階ではわからないが、空腹時よりも授業に集中することができるのだと考え、食事を提供したいと考えている。</p> <p>食事の提供時間が短いため、利用人数が多いと提供が難しいかもしれない。まだまだ、課題は多く、はじめの一步も踏み出せていないのが現状である。</p> <p>どういう子が、どれくらい来るのか全く分からないが、</p>
--	--	---

		<p>1 小の児童全員に P R のチラシを配る予定。ワンコイン（100円）で月に2回など、定期的に提供する。友達と食事をする機会をつくることで、不登校児が減ることも期待している。</p> <p>動いてみないことには、何も始まらないのではないかと思う。</p>
	(会長)	<p>保育園・幼稚園の児童の朝食事情はどうなっているのか。</p>
	(委員)	<p>保育園でも、朝食を食べてこない児童はいるようだ。しかし、食事の時間が小学校より早いため、対応できている。子どもが朝食を食べていない理由には、保護者が食事を用意しないということがあるようだ。保護者には、「早寝・早起き・朝ごはん」を提唱している。朝食をとってこない児童は少ない。</p>
	(委員)	<p>子どもへのサポートはすることを前提として、保護者へのサポートが少ない。</p> <p>チャイルドシートを使用せずに、子どもを車に乗せているなど、親への啓蒙・フォロー・教育活動をしてほしい。朝食を準備できない保護者に手を差し伸べることも必要なのだと思う。子どもへのサービスと、並行して行ってほしい。</p>
	(会長)	<p>幼稚園はどうか。</p>
	(委員)	<p>幼稚園でも、朝食をとっていない児童はたまにいる。しつけの5原則で食育は1番大切なものである。それを守る親はきちんと食べさせている。朝食を食べてこなかった児童については、食事を提供するのではなく、保護者に対し、食事をとらせるように指導している。食事を提供することは簡単だが、それより先に、することがあるのではないか、ということで、親への指導を徹底している。なぜ食べさせなくてはいけないのかわからない保護者が多い。</p>

	<p>(会長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p>ほかに何か。</p> <p>今年度初めて「子供の貧困対策」という目標が作られたところで、瑞穂町の貧困率はどうなっているのか。保健センターは相談が増えていると書いてあるが、生活をしていくことに追われている家庭が多いのだろうか。他の市と比べると、生活保護の受給者も多いと聞く。その中で、どのようなところを支援していくのか。</p> <p>貧困の状態はどうなっているのか</p> <p>詳しい数字ではないが、新聞等でも、ひとり親家庭の生活が苦しいと報道されている中、瑞穂町と武蔵村山市は、東京都の中でも特にひとり親世帯の割合が高い地域である。瑞穂町は、前回の国勢調査でひとり親世帯の割合は11%であった。町長の公約でもある、ひとり親家庭への経済支援を進めている。</p> <p>また、戸田委員から質問のあった、子供食堂については、貧困対策の進捗状況に一言載せている。</p> <p>貧困対策として一つの事業を行うわけではなく、様々な事業を通して、多角的に貧困対策をしていく。</p> <p>新たに追加した児童育成手当についての施策もその一環である。</p> <p>今もらった意見を受け止めて、しっかりとらえていきたい。</p> <p>(会長)</p> <p>ほかに何かあるか。</p> <p>実態把握して、明らかにして、課題を追及することが大切だ。</p> <p>(委員)</p> <p>保育園・幼稚園の保護者は、先生と直接顔を合わせる機会が多いが、小学校・中学校の先生は、おうちの方と顔を合わせる機会が少ないので、啓蒙や、食の大切さを教えることは難しい。食事をとっていないことで、学業に支障が出ることは、児童にとっても不幸であると思う。何か機会</p>
--	--	---

		がないかと思っている。
	(会長)	同意する。 しかし、来てほしい保護者こそ来てくれないというのが現状である。 コミュニケーションが大事な中で、新型コロナウイルス感染症の対策がとられていて厳しい状況だ。意見を出し合っていこう。
	(委員)	食育は大事だ。食育から始まるコミュニケーションもある。難しい問題だ。
	(委員)	新聞やテレビで、新型コロナウイルス感染症が原因で、虐待や引きこもりが増えていると聞くが、子ども家庭支援センターへの相談も増えているのではないかと思う。瑞穂町では、実際はどうなっているのか。
	(子ども家庭支援センター係長)	相談件数は、むしろ減っている。4月から6月までに関しては、学校が休校となっていたため、家の外の人のが届きにくく、学校とのやりとりも少なかった。他自治体も相談件数は減っている。 現在は増えてきており、10月30日時点では相談件数は72件。去年の相談件数は全部で172件、虐待は83件で約半数。 今後の推移に気を付けていく。
	7 連絡事項 (事務局)	次回の会議は、第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況下半期の集計をしてからの開催となる。 3月に開催する予定。場所は、庁舎1階ホール。 また、3月31日に現在の委員の任期が終了となり、改選される。
	8 閉会 (会長)	議題を終えることができた。

	(副会長)	たくさんの活発な意見が出て、これからの瑞穂町のこどもたちが、いい形で育っていけるサポートができればと思う。
--	-------	---